



～ PROFILE ～

氏名：高橋 強
(たかはし つよし)
出身：兵庫県明石市



日々の活動をSNSで発信中！ @TOYOKOROTAKAHASHILAND

これまでの経歴を教えてください！

高校生までは明石市と神戸市の学校に通い、大学は帯広畜産大学に通いました。大学卒業後は、広告会社などを経て大阪府の(株)阪急阪神百貨店で11年間バイヤー、イベントプランナーとして勤務し、北海道物産大会、夏の北欧フェア、カレーとカレーのためのうつわ展などの催事を企画しました。コロナ禍が始まり、催事を開催できない時期が続いたことが転機となり、令和5年から地域おこし協力隊として再び十勝に戻ってきました。



大坂で活動されていたときの写真
(右側が高橋さん、左側が恩師の薬師寺バイヤー)

なぜ地域おこし協力隊に？



面白農業法人TOYOKORO Zの写真

コロナ禍を経て、大自然や地の利がある北海道へ移住することを決めました。元々大学生時代に十勝で生活しており、起業をするなら十勝でしたいと思ったタイミングで、豊頃町がフリーミッション型の地域おこし協力隊を募集していることを知りました。十勝に住めて、かつ、これまでのやってきた経験を活かしながら新しいことにチャレンジできる仕事内容だったので、地域おこし協力隊になりました。

日々の活動を教えて下さい！

1年目はSNSで情報発信をしながら町を知ることから始め、YouTubeで町のことや地域おこし協力隊についてを語る「移住ラジオ」を発信したり、Instagramで町の様子について写真や動画をアップロードしました。

2年目は豊頃町の農業に着目し、農家戸数の減少と人口減少の脅威から、面白い農業の未来を守り、次世代につなげていくため町内の30代～50代の農業者と「面白農業法人TOYOKORO Z」を立ち上げました。

8月には、春に手で種を蒔いて育てた枝豆を収穫し、その場で茹でて食べるイベント「もぎたて枝豆ビアガーデン」を開催し、子どもたちに農業の面白さを体験してもらいました！



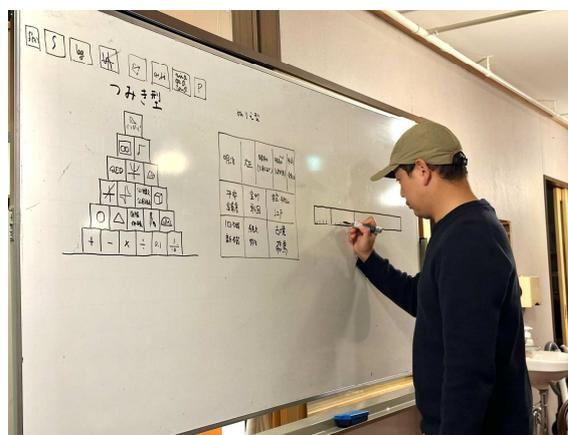
📷 もぎたて枝豆ビアガーデンの様子

今後の展望を教えてください！

協力隊の任期は3年ですが、2年目の後半にスタートした学習塾を任期終了後も継続して続けていきたいと考えています。

「アウェイでゴールを決めよう」のテーマを掲げ、過去の求人情報サービスの会社での経験を基に大手企業の新卒採用で使用される「学歴フィルター」について町内の保護者に知ってもらうところから始めました。人気企業は、大学名でエントリーシートを減らしてから筆記試験や面接を実施することが多いため、どれだけその企業に入社したくても、大学名で弾かれてしまうことがあります。これを知ってもらい、子どもたちの教育に力を入れてもらいたいと思っています。

豊頃町では、一次産業従事者が人口の70%（全国だと人口の2～3%）いるので、大学卒業後に企業に就職し、ノウハウを学んだ後、家業を継ぐ流れを作ることができれば、「農業×何か」で新たな6次産業に発展させることができると考えています。今の学生たちが就職して地元に戻ってくるまで10年以上かかるかもしれませんが、必ず芽が出ると信じてこれからも学習塾で指導をしていきたいと思っています。



📷 学習塾での様子